

第12回苫小牧市行政改革推進審議会 議事録

日 時	令和2年12月14日（書面開催）				
場 所	—				
出席委員	12人 石森委員、大橋委員、小林委員、小山委員、佐藤委員、新庄委員、 滝本委員、中村委員、藤田委員、柳委員、山上委員、渡辺委員 （敬称略、五十音順）				
事務局	行政監理室				
会議の内容	<p>1 会議概要について</p> <p>(1) 令和2年11月27日（金）に、各委員に対して開催通知及び資料を電子メール又は郵送で送付し、意見等について返信を求めた。</p> <p>(2) 令和2年12月14日（月）までに、全委員から意見等の返信があった。</p> <p>2 提出された意見等について</p> <p>(1) 意見の有無</p> <table border="1"><tr><td>意見あり</td><td>2人</td></tr><tr><td>意見なし</td><td>10人</td></tr></table> <p>(2) 意見等の内容</p> <p>別紙のとおり</p>	意見あり	2人	意見なし	10人
意見あり	2人				
意見なし	10人				

	意見の有無と内容	事務局の考え
石森 会長	意見なし	—
滝本 副会長	意見あり 自己評価の評価項目は前回の意見が反映されているので良いと思います。 今のコロナ禍で行政の変化も目まぐるしくなるでしょう。柔軟な姿勢で創造性が活かされる行政運営が必要になると考えます。 職員一人一人の考える力と想像力を伸ばす。トップダウン・ボトムアップが両輪で働く行政を目指していただきたい。	新型コロナウイルス感染症拡大の中ではありますが、現状を踏まえた上で、発想の転換により新たな発想・新たな手法に積極的にチャレンジしていくという考え方のもと、各取組を進めてまいります。
大橋 委員	意見あり 進捗状況シートにおける総合評価の基準（A～D）ですが、このような点数配分及び条件とした根拠（理由）を教えてくださいと幸いです。	総合評価については、各評価項目の合計点の85%以上を目安に最高の「A」、60%以上を目安に「B」とし、それ以下を「C」としています。なお、委員の皆様には、複数の実践項目における評価点の平均を算出して取りまとめた「取組項目」ごとに評価いただく流れとしており、この取りまとめの過程を考慮し、「A」及び「B」の下限を若干補正しております。また、各評価項目に1点がひとつでもある場合は、合計点に関わらず課題がみられるものとして最高の「A」の評価は行わないこととしたいと考えています（未着手の取組がある場合は最低評価の「D」）。
小林 委員	意見なし 評価方法自体に異論はありませんが、実際に担当部署が進捗状況シートの【評価の理由】欄を記入するときは、できるだけ根拠やデータを示していただきたいと存じます。スペースの制約があるのであまり書き込めないことは理解できるのですが、例えば資料12-2の記入例のように「業務量に見合った取組となった」だけでは、なぜそのような評価になったのかがよく分かりません。	「評価の理由」欄は、その理由が具体的に確認できるように、記入例を見直してまいります。
小山 委員	意見なし	—
佐藤 委員	意見なし	—
新庄 委員	意見なし	—
中村 委員	意見なし	—
藤田 委員	意見なし	—
柳 委員	意見なし	—
山上 委員	意見なし	—
渡辺 委員	意見なし	—